

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期弟子屈町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道川上郡弟子屈町

3 地域再生計画の区域

北海道川上郡弟子屈町の全域

4 地域再生計画の目標

弟子屈町の総人口は、1960年の13,262人がピークであったが、その後減少が続
き、2015年には7,758人となっており、約5,500人の減少、41.5%の低下となっ
ている。ピークであった1960年以降、1985年までは増減を繰り返しながら比較的緩
やかな減少が進んでいたが、昭和の終わりから平成の初めにかけて起こったバブル
経済とその崩壊以降、総人口の減少に拍車がかかり、現在まで続いている。

出生数は、2000年度から2008年度まで約70人前後で推移していたが、2008年度
以降は減少し、2019年度には34人となっている。合計特殊出生率は、国、北海道
及び札幌市に比べ高い水準で推移していたが、2013年から2017年にかけては1.35
に低下し国を下回る結果となっている。また、死亡数は、2000年度以降、増減を繰
り返ししながら100人前後で推移している。

2000年度以降の本町への転入数をみると、2006年度までは増減を繰り返しながら
緩やかに減少する傾向が続いていたが、2007年度から2010年度は300人台で増
減し、2011年度以降は300人前後で推移している。また本町からの転出数は、2000
年度から2009年度までは、増減を繰り返しながら緩やかに減少する傾向が続いて
いましたが、400人台を維持していました。しかし、2010年度以降は300人台で推
移しており、転入数も減少していることから、人の流れが縮小している傾向が見ら
れる。

2000年度以降の自然増減をみると、2019年度まで自然減が続いていますが、その

減少幅は年度を経るにつれ拡大しており、2024 年度には 103 人の自然減となっている。社会増減では、2010 年度は増加となっていますが、それ以外の年度においては社会減となっている。特に 2007 年度及び 2009 年度は大幅な社会減であったが、以降、平成 30 年度までは 70 人台から 90 人台で推移し、コロナ禍を経て 2023 年度には 22 人の社会減となっている。自然増減と社会増減を併せた人口増減では、2016 年度から 2018 年度まで、150 人を超える人口減が続き、2023 年度には 127 人の人口減となっている。

また、2000 年度から 2019 年度の間で、2010 年度のみ社会増となっているが、それを除き自然減と社会減となっており、人口減少が続いている。

本町を取り巻く社会経済状況や、人口動向と展望、住民が求めるまちづくりの意向等を踏まえ、人口増加へと転じるための人口減少の抑制に、全町挙げて取り組む必要がある。

「全ての住民が、暮らしに満足を感じ、次代に夢を託せるまちづくり」を目指し、本計画では今後のまちづくりを進めるうえで必要なプロジェクトを以下のとおり定め重点的に各種施策や事業を展開していくものとする。

- 基本目標 1 「まちづくり」プロジェクト
- 基本目標 2 「ひとづくり」プロジェクト
- 基本目標 3 「しごとづくり」プロジェクト
- 基本目標 4 「くらしづくり」プロジェクト
- 基本目標 5 「行財政運営」プロジェクト

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I (第2期でしかがまち・ひと・しごと創生戦略 該当ページ)	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	観光入込数 (P90)	706,776人	900,000人	基本目標 1
イ	関係人口数 (P93)	177.8万人	200.0万人	基本目標 2

ウ	関連ブランド販売額 (P95)	1.4億円	5億円	基本目標 3
エ	YouTube、X、LINEの登録者 合計 (P97)	8,976人	10,000人	基本目標 4
オ	財政調整基金残高 (P99)	7.2億円	10億円	基本目標 5

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期弟子屈町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 「まちづくり」プロジェクト事業

イ 「ひとづくり」プロジェクト事業

ウ 「しごとづくり」プロジェクト事業

エ 「くらしづくり」プロジェクト事業

オ 「行財政運営」プロジェクト事業

② 事業の内容

ア 「まちづくり」プロジェクト事業

【取組方針】

- ① 自然景観の保全と活用
- ② 農林水産業の更なる振興
- ③ 観光振興の推進で稼ぐ力の増強
- ④ 域内経済循環の拡大

【重点プロジェクト】

- ・自然と共生した景感（景観）形成プロジェクト
- ・川湯温泉街再生プロジェクト

- ・ 中心街再構築プロジェクト

【主な施策】

- ・ 統一感を持った景観づくり
- ・ 大気・水・土壌等の環境の維持
- ・ 川湯温泉街の再整備
- ・ ブランドの再強化
- ・ 中心市街地の再構築による地域商工業の振興
- ・ 域内消費の推進 等

イ 「ひとづくり」プロジェクト事業

【取組方針】

- ① 子育て環境の向上
- ② 弟子屈高等学校の存続支援
- ③ 障がいのある子どもたちの療育・教育の保障
- ④ 地域の芸術・文化・スポーツ等の推進と施設整備、創造発・人財育成

【重点プロジェクト】

- ・ 人財育成活用プロジェクト
- ・ アイヌ政策推進プロジェクト

【主な施策】

- ・ 子育て環境の充実
- ・ 人材が活躍できる仕組みづくり
- ・ 人・団体・地域のネットワーク形成
- ・ 交流人口及び関係人口の拡大
- ・ アイヌ民族資料館の保全と活用 等

ウ 「しごとづくり」プロジェクト事業

【取組方針】

- ① 地元産摩周和牛・ワイン・チーズなどの振興
- ② 道営草地畜産基盤整備事業の推進
- ③ てしかがスタイルのエコツーリズムの推進
- ④ コタン地域を中心としたアイヌ政策の推・地熱活用プロジェクト

【重点プロジェクト】

- ・地熱活用プロジェクト
- ・地域特産品ブランド化プロジェクト

【主な施策】

- ・再生可能エネルギーの活用
- ・地域特産品のブランド化と販売強化
- ・弟子屈産チーズの開発 等

エ 「くらしづくり」プロジェクト事業

【取組方針】

- ① デマンド型交通や自動運転など新たな域内交通の推進
- ② 公営住宅や民間住宅など住環境の整備・支援
- ③ 災害時の避難所や備蓄品を整備し、避難訓練を定例化
- ④ 心と体の健康づくり推進と自殺の根絶・ICT・IoTを活用したスマートタウンプロジェクト

【重点プロジェクト】

- ・ICT・IoTを活用したスマートタウンプロジェクト
- ・ウィズコロナ、アフターコロナプロジェクト

【主な施策】

- ・情報化推進による住民サービスの向上
- ・行政手続のオンライン化の推進
- ・スマート自治体の推進
- ・新型コロナウイルス等の感染症対策
- ・心の健康づくりの支援 等

オ 「行財政運営」プロジェクト事業

【取組方針】

- ① ふるさと納税の増額確保
- ② 公共施設の適正化
- ③ SDGsの推進
- ④ 役場組織の強化・充実

【重点プロジェクト】

- ・財政安定化とふるさと納税プロジェクト

【主な施策】

- ・ 安定的な財政運営と財政見通しの公表
- ・ ふるさと納税の寄附件数及び寄附額の向上 等

※ なお、詳細は第2期でしかが まち・ひと・しごと創生戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

500,000 千円（2025 年度）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度1月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式W E Bサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで